

I. 次の楽曲はハイdn作曲、弦楽四重奏曲op. 20の一部分である。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑩の音名を答えなさい。また、①～⑤の転回音程と同じ音程になるように下の楽譜の各音の上方に全音符で書きなさい。

(音名) (2点×10=20点)

① 完全5度	② 長3度	③ 増1度	④ 減7度
⑤ 短2度	⑥ 減8度	⑦ 長6度	⑧ 短7度
⑨ 増2度	⑩ 減11度(1octと減4度)		

(転回音程) (2点×5=10点)

2. 次の(a)～(f)で示される音階になるよう、必要な箇所に変化記号を書きなさい。(3点×6=18点)

(a) ⑦を主音とする和声短音階 _____

(b) ⑦を属音とする旋律短音階上行形 _____

(c) ⑦を第III音とする長音階 _____

(d) ②を導音とする長音階 _____

(e) ③を下属音とする旋律短音階上行形 _____

(f) ②を第VI音とする和声短音階 _____

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい

1. (1)～(7)の和音について種類、転回形、所属調を右からそれぞれ選び、種類・転回形(1点×14=14点) その記号、あるいは番号を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。所属調(完答)(3点×7=21点)

和音	種類	転回形	所属調							
(1)	ウ	B	6	17	20					
(2)	エ	A	18							
(3)	オ	D	6	20						
(4)	ア	B	5	6	7	16	21			
(5)	ア	A	6	7	8	17	22			
(6)	カ	A	19							
(7)	イ	C	9	10	11	20	21			

種類	所属調
ア. 長三和音	1. ハ長調
イ. 短三和音	2. ト長調
ウ. 減三和音	3. ニ長調
エ. 増三和音	4. イ長調
オ. 属七の和音	5. ヘ長調
カ. 減七の和音	6. 変ロ長調
	7. 変ホ長調
	8. 変イ長調
	9. 変ニ長調
	10. 変ト長調
	11. 変ハ長調
	12. 変イ短調
	13. 変ホ短調
	14. 変ロ短調
	15. 変ヘ短調
	16. 変ニ短調
	17. 変ト短調
	18. 変ハ短調
	19. 変イ短調
	20. 変ロ短調
	21. 変ホ短調
	22. 変イ短調

2. 次の文中の[]に調名を、《 》には関係調の名称を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(2点×6=12点)

- a. (1)と(4)を同時に含む調の平行調は[ト短調]である。
- b. (5)を属音とする調の《 平行調 》は[ヘ短調]と変ハ長調である。
- c. (6)の所属調の下属調は[変ロ短調]であり《 同主調 》はヘ長調である。
- d. (7)をVI度の和音とする調の属調の異名同音調は[嬰ハ長調]である。

III. ③～⑥の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書き入れなさい。(1点×5=5点)

③ <i>calando</i>	9
④ <i>elegiaco</i>	6
⑤ <i>misterioso</i>	5
⑥ <i>più mosso</i>	8
⑦ <i>simile</i>	3

- 楽語
1. 軽快に
2. 非常に
3. 同様に
4. 華やかに
5. 神秘的に
6. 悲しげに
7. ただちに速く
8. 今までより速く
9. 次第に遅くしながら弱く
10. 次第に速くしながら強く